HCi-AS 診断結果報告書

診断年月日 ： 2011年8月28日

会社名	ヒューマンキャピタル研究所	No.		性別	男
氏　名	山本　太郎	生年月日	昭和39年8月13日		

1. 結論

5 再面接の上検討する （+）

《結論について》
業績をあげ得る人材か否かの総合的判断支援情報です。
1~5(+)、5(−)の合計6通りの表示です。
あくまでもランキングするものではありません。
参考に、各表示の理論的出現率を記しております。

1. 是非採用したい…… 6%
2. 採用してよい…… 16%
3. 適職あれば採用…… 8%
4. なるべく避けたい…… 9%
5. 再面接の上検討する(+)…… 25%
5. 再面接の上検討する(−)…… 36%

2. 決定にあたっての重要ファクター

支援結論を導き出した理由としてあげられるその人の核心ともなる特徴を、2項目記述しました。

1 直感力
自分の世界がはっきりしており、切れ味は鋭く反応も早い。ひらめきに優れている。

2 自己主張力
なかなか強い自己主張力を持っているが、自己枠の中にとらわれる狭さが見える。

3. 知的効率

持っている知的レベルを仕事のうえでどの程度効率よく発揮できるかを3段階で表示します。知的レベルとの相関はありません。

2 普通

4. 知的に低いときの行動特徴

知的レベルの低い場合には、記述されている行動傾向が現れる可能性があります。

自分の世界に閉じこもりがちとなりやすい。時には情緒障害をおこすこともあろう。

5. 面接のチェックポイント

面接時のチェッポイントは、個人個人によりまったく違うはずです。ここではそれぞれの人に合わせて質問を出しやすいように、2つのポイントを記述しております。

1 この人の内面の世界を探ってみたい。センス、ひらめき等。

2 暗さの印象は、自分を抑圧していないか。

6. もち味としての行動

その人の長所を記述しております。2、の決定にあたっての重要ファクターと合わせて読むことによって、より理解が深まります。

自分の世界がはっきりしているタイプ。切れ味が鋭くひらめきもよい。反応は速い。実行にあたっては慎重さを発揮。単独指向型。

7. 欠点としての行動

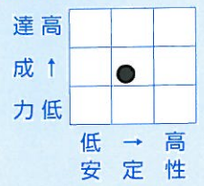
その人の短所を記述してあります。2、の決定にあたっての重要ファクターと合わせて読むことによって、より理解が深まります。

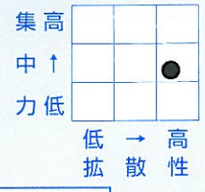
狭い視野、領域にどうしても限定される。対人的にも親和性に欠け、冷さが目立ってこよう。内向化して情緒障害が出てくる恐れも。

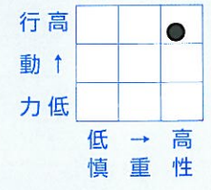
サンプル

氏名　山本　太郎

8. 課題処理パターン

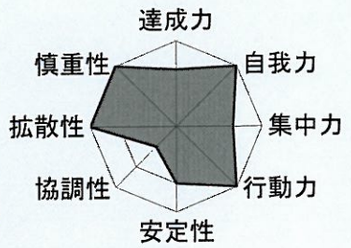






仕事をする上では、お互いに対極にある行動傾向ですが、業績を達成する人は、それぞれ高いレベルで表示がされます。

自分の世界のはっきりした人で、社会性は低い。切れ味は鋭く、ひらめきに優れている。自己主張力も強く、対話性に欠けてこよう。行動のテンポも速い。しかし慎重さもみられ、全体としてバランスされている。



9. 適性配置予測

RCI 型

仕事への適性を大きく6つの職務との指向の強さで表示します。
各職務のアルファベットの頭文字より強い順に3つを表示型名としました。

I	専門研究的業務	50
R	技能的業務	75
C	維持的業務	55
E	活動的業務	25
S	対人的業務	25
A	変化対応的業務	25

興味・関心の幅は限られており、自分を中心とした狭い世界で動いていく。また、その中に閉じこもりがちになる。はっきり分かっている定型的な仕事に向いている。幅の広い仕事は苦手であろう。

10. 戦力化予測

・早期戦力度は、入社後1~2年後に組織の一員としてある程度の成果を発揮するであろうという予測です。
・成長度は、まさに「リーダー シップ」の潜在的可能性を予測しています。
・チームワークは、組織において業績に結びつく対人指向度を表しています。

早期戦力度	60
成長度（幹部予測）	45
チームワーク	40

たての関係が強く、よこの関係が非常に弱い。反応は早いが実行は慎重である。全体として暗い印象であろう。環境の変化に弱く、成長に限界があろう。

11. 育成指導のポイント

入社後、改善すべき点を2項目に絞って記述してあります。

1 適性配置
テンポの速さやひらめき等を十分生かせる配置が前提となろう。その上で適性拡大を。

2 開放的に
明るさを持って他の人々との交流を深めさせたい。相互理解の努力を捨てさせないこと。

● メンタルヘルスに関して

対人関係の技術の下手な所があり親和性に欠けよう。抑圧的でどうしても自分の世界に閉じこもりがち。

欄内に「特記なし。」の表示が多いはずです。
文章が記述されるケースは、メンタルヘルスに関して、将来的に組織内で種々な不適応行動に至る可能性を示唆しています。